

2019年9月19日

立教大学国際学術研究交流制度
2019年度「招へい研究員」報告書

1. 招へい概要

受入 教員	所属・職	経済学部・教授
	氏名	櫻井 公人
受入学部・研究科・研究所		経済学部
招へい 研究員	所属・職	Professor, Department of International Politics, Aberystwyth University 所属機関所在国：英国
	氏名	Mustapha Kamal Pasha
招へい期間		2019年7月9日～2019年8月7日（30日間）
研究経費		672,030円

2. 滞在中の活動

来日日および離日日を含め、滞在中の活動を記入してください。全日程（毎日）記載する必要はありません。講演会やセミナーなどを開催した場合はタイトル、会場、参加者数等を記載してください。

活動内容記入例）〇〇について研究討議、共同研究、講演、講義、大学院生への研究指導等

*「本学との学術協定（学部間・研究所等間を含む）の締結または既存協定の維持・強化に資する活動」を行った場合は、該当する活動内容に※を付してください。

年月日	活動内容
2019年7月9日 (火)	来日
2019年7月10日 (水) 17:20-19:20	研究会「激変する北東アジア地域情勢に関する地政経済学的研究」 US-China Conflict: Options for Japan 15名 立教大学池袋キャンパス12号館4階・経済学部共同研究室
2019年7月13日 (土) 10:45-12:20	経済学部山縣宏之教授・科研費プロジェクト 7名 4256教室
2019年7月16日 (火) 10:45-12:20	講義（経済学部, アメリカ経済論）US Under Trump: Domestic and International Agendas 120名 4402教室

2019年7月16日 (火) 16:30-18:15	ワークショップ Migration and Multiculturalism: Global Perspective 25名 立教大学池袋キャンパス 12号館 2階会議室
2019年7月26日 (金) 15:00-18:30	ワークショップ Implications for America First Policy 12名 立教大学池袋キャンパス 12号館 4階・経済学部共同研究室
2019年8月1日 (木) 17:10-18:50	講義(経済学研究科, 国際貿易特論) Coping with Brexit 4名 立教大学池袋キャンパス 12号館 4階・経済学部共同研究室

3. 研究・交流状況および成果

上記に記載した活動について、具体的な研究・交流の内容および成果を、本学の学術研究、教育活動、国際交流の進展へ与える効果を含めて、記載してください。講演会やセミナーなどの参加者層(学生、大学院生、一般、教職員等)、会場の様子なども記載してください。

・講義へのゲストスピーカーとしての参加をお願いした。学部講義では、アメリカ経済論で、「トランプ政権下の国内的・対外的課題」についてお話しいただき、学生から次々に質問が出るなど、好評を博した。大学院講義では、国際貿易論特講において「ブレクシットへの対処」についてお話しいただいた。

・7月10日「激変する北東アジア地域情勢に関する地政経済学的研究」は、立教大学経済研究所のワークショップ(代表: 巖成男教授)第1回として開催された。学内・学外の研究者の参加を得た。

・7月13日には、山縣教授の科研費プロジェクトが行われ、国内4大学4名のアメリカ経済研究者の報告に対して、Pasha教授がコメントされた。

・7月16日「移民と多文化主義」は、立教大学経済研究所の国際・政策部会ワークショップとして開催された。本学・他大学研究者に加え、社会学部学生多数の参加を得た。

・7月26日「アメリカ第一主義政策のインプリケーション」は、グローバル政治経済学(GPE)研究会への報告として行われた。

以上、学部講義と大学院講義へのゲストスピーカーとして貢献いただいたことに加え、科研費や経済研究所プロジェクトへの共同研究として、貢献をいただいた。

(特記事項) 本学との学術協定(学部間・研究所等間を含む)の締結または既存協定の維持・強化に資する活動を行った場合は、下記にその内容を記載してください。